From East
フロム　イースト

－共生地域創造財団ニュースレター－

2023.12　No.21

●宮城本部事務所
仙台市青葉区二日町6-6 2F
TEL：022-796-7789

公益財団法人 共生地域創造財団

二本松市　石倉団地おしゃべり会

復興公営住宅石倉団地

開所して１年が過ぎ、復興公営住宅石倉団地の方々を中心にしたおしゃべり会を開催することができました。団地の目の前にある喫茶店コーヒータイム　OBRI　（障害者の就労支援のための喫茶店）です。月に１回もしくは２回午後の数時間を貸し切って行います。チラシを作り、団地に掲示してもらうと同時に、声がけして、参加者を募ります。

一人で暮らしていても、孤立せずに誰かとつながっている生活を実現したい、そしてその一人一人の人生を大切に思いながら、助け合いたい。あの日を境に希望が見いだせない人がいたとしたら、そこに寄り添っていきたいと思っています。

団地自治会長さんの協力もあり、自治会のお祭り、旅行にも参加させていただきながら、関係性を構築しています。この小さな出会いが、地域との交流に発展していくよう力を尽くしたいと思っています。

自治会長自ら考案した健康体操の教室が毎週木曜日に行われています。

10/29生活クラブの方々が訪問してくださいました。

From Fukushima

川内村　昭和横丁　秋の朝市

川内村の秋は、山の緑と空の青が見事なコントラストを披露、１０月の終わりには、モミジの葉が赤く染まり、少しずつ冬の気配を感じます。

風の強く寒い日の朝市は、食料品が並ぶまで、プレハブの事務所の中で待つことができます。一人、二人と集まり、久しぶりに会った方々は、昔話や日々の出来事等話をしたいことがたくさんあり、合いの手も入れる間もないぐらい話に花が咲いています。熱々たい焼きやコーヒーの差し入れもあり、おなかも気持ちも満たされた後、目的の買い物となります。

仮設から始まった朝市も、１２年が過ぎ高齢者が増え、会場まで来ることのできない人が出てきました。安否確認も兼ねて配達をしています。これからの朝市はどのような形がよいのか、そろそろ考える時がきています。

被災地の今を知るツアー　岩手編

２０１１年３月１１日、いつもそこにあったまちの景色が一変した日。あまりに悲惨で非日常で、簡単に命が消えていく日でした。

１０年以上の月日が流れ、現地でははみんなが1年、生きた証を振り返る日になりました。そして、命は大事だとみんなで共有できる日になっています。

当時の面影を残す場所を共に巡り、地域の方々と交流する時間を共に過ごす体験ツアーの受け入れを始めます。

岩手県北では、重茂漁港や山田町の一般社団法人BlessUの『みんな農園』の様子を見れるようなプログラムを考えています。

県南では、陸前高田市の一般社団法人スナフキン・アンサンブルのユニバーサル就労の様子や、特定非営利活動法人きょうせい大船渡で始まる『和ぐるみプロジェクト』について、一緒に語り合いたいです。そして、お互いの地域が、どんないのちでも大切にされ、安心と安全のある共生地域となっていく働きを担う仲間になっていけたらいいなと思います。

お昼の時間は、地域の郷土料理などを囲んで、ワイワイ楽しく食べましょう。

ぜひ、被災地の今を知る旅を自由に計画してみてください。

活動支援金寄付のお願い

長期的な支援を実現するために一人でも多くの皆様に応援していただければと思います。

◇郵便局から振替の場合
郵便振替：02250-6-126459
口座名：公益財団法人 共生地域創造財団

◇郵便局以外から送金の場合
銀行名：ゆうちょ銀行
店名　二二九店（ニニキュウ店）
口座　当座
口座番号：0126459
口座名：公益財団法人 共生地域創造財団

◇一般社団法人スナフキン・アンサンブル

くるみ事業で猫ちぐらを編む計画の話が、前向きに進みました。スナフキンアンサンブルの職員遠藤さん（左上）の打合せが終わったあとの楽しそうな笑顔。

スタッフのつぶやき

（本部事務所　担当　吉田）

石巻市では、ソーシャルファームによるクラフトビール醸造所やワイナリー、お買いもの処など住民さんと移住してきた方々が一緒に街づくりをしています。いつでも現地をご案内します！